

# 【正誤表】

書名：合格精選 400題 航空無線通信士 試験問題集

版数：第1版2刷

ページ	箇所	誤	正
31	解説→問28 最下行	したがって、 $R$ の両端に生じる電圧 $V_R$ は、 $V_R = iR =$	したがって、 $C$ の両端に生じる電圧 $v$ は、 $v = iX_C =$
32	解説→問30 2-3行目	5：コンデンサに流れる電流 $i_C$ とコイルに 流れる電流 $i_L$ との位相差は、90度であるか ら、角速度で表すと $\pi/2$ [rad] である。	5：コンデンサに流れる電流 $i_C$ とコイルに 流れる電流 $i_L$ との位相差は、180度であるから、弧度法（ラジアン）で表す と $\pi$ [rad] である。
33	下から5行目	$L$ と $C$ の合成インピーダンス $Z$ は、	$L$ と $R$ の合成インピーダンス $Z$ は、
37	下から5行目	$V_{RC} = I_B \times R_C =$	$V_{RC} = I_C \times R_C =$
38	問35 (2)	コレクターエミッタ間の電圧 $V_{BE}$ は 11 [V] となる。	コレクターエミッタ間の電圧 $V_{CE}$ は 11 [V] となる。
39	下から2行目	$= \frac{60 \times 10^{-2}}{60 \times 10^{-6}} = 1 \times 10^2 = 100$	$= \frac{60 \times 10^{-4}}{60 \times 10^{-6}} = 1 \times 10^2 = 100$
74	解説→問87 選択肢2 2行目	→プレエンファシスの動作である。	→デエンファシスの動作である。
88	解説→問107 2-5行目	ウ：最大探知距離を大きくするには、送 信パルスの幅を狭くし、繰り返し周波数 を低くする。 オ：最小探知距離を小さくするには、ア ンテナの高さを高くし、垂直ビーム幅を 広くする。	ウ：最大探知距離を大きくするには、送 信パルスの幅を広くし、繰り返し周波数 を低くする。 オ：最小探知距離を小さくするには、ア ンテナの高さを低くし、垂直ビーム幅を 広くする。
92	解説→問112 2行目	基準点までの垂直距離を測定するトラン スポンダーである。	基準点までの斜距離を測定する2次レー ダーである。
103	下から 1-2行目	使用周波数は、4及び6 [GHz] である。	使用周波数は、4及び6 [GHz] 帯である。
104	解説→問129 選択肢エ 2行目	→30GHz帯/20GHz帯である。	→4及び6 [GHz] 帯である。
104	解説→問129 選択肢オ 1-3行目	使用周波数は、4及び6 [GHz] である。 →受信周期数1.5GHz帯／送信周波数 1.6GHz帯である。	使用周波数は、4及び6 [GHz] 帯である。 →1.5及び1.6 [GHz] 帯である。
108	問138 選択肢2 1行目	完全に充電された状態から3 [Ah] の電流 を流して	完全に充電された状態から3 [A] の電流 を流して
113	問145 1行目	次の記述は、図に示す超短波（UHF） 及び	次の記述は、図に示す超短波（VHF） 及び
116	解説→問151 最下行	参考：導波管の外形は周波数に比例して	参考：導波管の外径は周波数に比例して
123	問164 最下行	低い周波数に用いる導波管ほど外径が 小さくてすむ。	低い周波数に用いる導波管ほど外径が 小さくてすむ。

128	解説→問174 2行目	一般に電波が上空側に湾曲するため,	一般に電波が地上側に湾曲するため,
131	問179 1行目	マイクロ波（UHF）帯の電波の	マイクロ波（SHF）帯の電波の
153	5行目	ミニ解説 370.4キロメートル=2NM	ミニ解説 370.4キロメートル=200NM
160	問47 下から 1-4行目	C 3年以内 5年ごと 5年ごと 3年以内	C 5年以内 3年以内 3年以内 5年以内
167	問61 選択肢3 1行目	航空機局及び航空機地球局は、避難通信を受信したときは、	航空機局及び航空機地球局は、遭難通信を受信したときは、
203	問124 下から2行目	当該遭難通報を航空交通管制に	当該遭難通報を航空交通管制の機関に